

佐伯市民大学「令和四教堂」講座によせて



佐伯市民大学
「令和四教堂」学長

村上 審郎
1947年大分県佐伯市生まれ。筑波大学農学部卒業後、2003年3月、Google Japan 代表取締役社長としてGoogle入社。日本におけるGoogle全業務の責任者を務める。2009年Google Japan 名誉会員賞(EL)、2011年Google Japan 名譽会員賞(EL)、2013年Google Japan 名譽会員賞(EL)。現在、村上憲郎事務所開設。

地方創生の重要性が叫ばれて久しい昨今、佐伯市においても、その特徴を活かした自律的で持続的な地域社会を創生していく必要があります。
佐伯市では令和3年2月に「佐伯市民大学「令和四教堂」」を開講しました。
「ヨーロッパからアフリカへ」という考え方の下、市民が幅広い分野で学び、本市が抱える様々な課題や社会情勢の変化に対応し、「さいく7つの創生」を推進する「佐伯人(さいくじん)」の育成を目的としています。

講座の目的

講座の特徴

佐伯市内外に住むわざ・地域創生の学びに間に持つ人々を対象に、自然とともに地域共同体のかかわりに関する思想や哲学を基礎とし、「さいく7つの創生」にかかる分野を総合的に学習する講座を実施することにより、内斂的・外向的で持続可能な地域の発展に寄与する価値観と行動力を持つ人材の育成を行います。

*内斂的発展とは「伝統の再創造」であると
社会学者の創見和子は定義しています。



佐伯市民大学・令和四教堂の講座は、「地元学の会」が運営しています

水俣で生まれた地元学の手法で地域に埋もれた宝を見出し、地域力を再発見する学びを軸とした市民大学講座を運営するために結成された会です。地元学とは「ないものねりを やめてあるものを探し、地域の持っている力、人の持っている力を引き出し、あるものを新しく組み合わせ、ものづくり、生活づくり、地域づくりに役立てていく」という思想を軸とし、それぞれの風土と暮らしの成り立ちの物語という個性を確認し、大地と人と自分に対する信頼を取り戻し、自分たちでやる力を身につけていく学びです。

参加費	お申込み方法	お問い合わせ
<input type="checkbox"/> 1講座ごとの場合 1,000円(税込) → 会場にて現金支払い	QRコードより Googleフォームにて	メール saikijimotogoku@gmail.com
<input type="checkbox"/> 前期全額(15回) 12,000円(税込) → 指定口座へ、事前に入金いただきます。	FaceBook 公式ホームページ	地元学の会 事務局 Tel.0972-48-9293 大分県佐伯市戸穴 1304-1
※ 貢献金は、お申込み後にお知らせします。 ※ 貢献金の参加料無料です。 ※ 当日申し込みは原則受け付けません。		

地元学の会

佐伯市民大学 令和四教堂

前期・講座プログラム
令和3年12月～令和5年3月

























First term instructors







SDGsの物語をつくる







野生の力で今を生き抜く







未来社会のデザインを語ろう ほか

佐伯市民大学支援事業

市民大学講座の構成

前期（2021年12月～2023年3月）

12月の第1回講座（プロローグ）で、まず「地域力の再発見」のテーマを支えている「内発的発展論」の学習から始まり、佐伯市宇野を含む祖母・傾・大崩ユネスコエコパークという国際的に認知された貴重な自然資源の保全と活用の学習が続き、さらに「自然と人と地域」の関係性を、人間の精神性（スピリチュアリティ）、思想、歴史、哲学、教育の分野の専門家から多面的に学びます。

後期（2023年4月～2024年9月）

より現実的な地域や社会の課題（温帯緩化対策、住環境、自然環境、ライフスタイル、河川環境）について、持続可能性を視野に取り組む方法を様々な専門の講師から学びます。

前期・後期を通して

2024年3月までは内発的で持続可能な社会づくりのための、価値観を形成するプログラム。

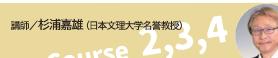
2024年4月から最終日の9月までは、行動力の形成を目指すプログラムとして、2年間半の学習の成果として、受講者自身による「地域力」を再発見するためのグループ研究プロジェクトの立ち上げ、最終発表のためのワークショップを予定しています。

全て参加することで、すべてが繋がります！

前期スケジュールと講師と課題

日程	さいき7つの創生にかかる分野	講師
2021年12月 26日	自然・生活環境、保健医療福祉、教育文化、まちづくり	プロローグ 岩佐礼子
2022年 1月 16日	自然・生活環境、産業振興、まちづくり、地域活性化	講義 杉浦嘉雄
2月 20日	自然・生活環境、産業振興、まちづくり、地域活性化	野外実習 杉浦嘉雄
3月 20日	自然・生活環境、産業振興、まちづくり、地域活性化	講義 杉浦嘉雄
4月 24日	予習講義 岩佐礼子	
5月 22日	予習講義 岩佐礼子	
6月 19日	自然・生活環境、生活基盤、保健医療福祉、教育文化、産業振興、まちづくり、地域活性化	講義 鬼頭秀一
8月 21日	予習講義 岩佐礼子	
9月 18日	自然・生活環境、保健医療福祉	講義 川原一之
10月 23日	予習講義 岩佐礼子	
11月 20日	予習講義 岩佐礼子	
12月 11日	自然・生活環境、産業振興、まちづくり	内山節
2023年 1月 22日	予習講義 岩佐礼子	
2月 26日	教育文化	講義 星野文絵
3月 19日	教育文化	講義 深津高子

講師紹介（前期）



講師／杉浦嘉雄（日本文理大学名誉教授）
course 2,3,4

1953年岐阜県大垣市生まれ。専門分野は鳥獣保護・環境教育。2020年3月まで日本文理大学工学部建築学科環境・地域創生コース教授。生物多様性等テーマにした授業で常に地図づくり、生態観察、自然体験活動などを継続的に実施。継続的環境保護とともに野生生物の回復に関する研究、野鳥と人種との調和や自然体験が子どもたちの個性や情熱に与える影響を調査する研究、「自然のイーターパーク（酒田）」という視点から考察する次世代育成の作品研究などを行う。日本生態系学会、日本鳥類保護連盟、日本森林保護学会、吉澤治政会員と所属。祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会会員。



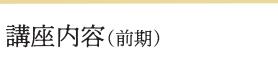
講師／鬼頭秀一（東京大学名譽教授）
course 7

1951年名古屋生まれ。専門分野は環境倫理・美学・技術社会論。山口大学、青森公立大学、東京農工大学、東京大学在学。2021年まで延べ21年間で多くの学生を育てた。生物多様性保護や自然共生、社会共生との関係、持続可能な社会の構築にかかる管理の研究。NPO法人益のふみさと計り職業理事。千人以上の行者を先導しながら山岳健脚会に尽力。海外交流を重ね外国人の修行も聞く。全国で山の知識を活かす生き方「社説法」として開拓。近畿にて野生の力を貢献する羽黒山伏に手を貸さない限り、生きる力を引き出すががある。2021年、NHK「ETV特集山伏、奈代(いさ)を駆ける~若い山の里出羽三山から~」に出た。



講師／深津高子（国際モンタッソーリ協会理事）
course 15

1980年東京生まれ。タイ・カンボジア国境のインボンダ国民の宿泊活動中、恒久的な平和擁護の方針としてモンタッソーリ教育を企画。隔離後は資料を保管し、モンタッソーリスクールに移る。現在は、全国で義務教育アドバイス、国際活動、連絡・翻訳などを通じて、モンタッソーリのメッセージ「私たちは子どもから始まる」を広めている。元国際モンタッソーリ協会理事、ピースポート「子どもたちの家」アドバイザー。



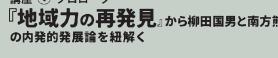
講師／岩佐礼子（あまべ文化研究所代表）
Prologue

1977年に佐伯城城跡卒業後、明治学院大学で仏文学を専攻し、外資系企業に就職。その後スイスのジュネーブ大学に留学し、開拓学の修士号取得後、国際児童基金に15年間務める。主に難民子弟支援の専門家としてアフリカやアジア各地にて活動。帰国後は東京大学で環境教育・内閣府の発展論を研究し、環境学の博士号を取得。2015年に「地域力の再発見」を著書店より出版。現在佐伯市のあまべ文化研究所で地域づくりに携わっている。

講座内容（前期）

注：会場と時間は受講者の申し込み人数によって変更の可能性があります。
講座の1ヶ月前に記述までのフィードバックページへ掲載します。
ご利用いただけない方は、事務局メールアドレスまたは電話へお問い合わせください。

※後日、講座内容をネット配信予定。日時はFacebook公式ページより告知。



講座① プロローグ
『地域力の再発見』から柳田国男と南方熊楠の内発的発展論を紐解く

日時：2021年12月26日（日）午後3時～5時
会場：佐伯東地区公民館 集会室
講師：あまべ文化研究所代表 岩佐礼子
(講座コーディネーター兼 講師)

1



講座② 宮沢賢治に学ぶ「自然観・宇宙観」と地域づくり（ガイダンス）

日時：2022年1月16日（日）午後3時～5時
会場：佐伯東地区公民館 集会室
講師：日本文理大学名譽教授 杉浦嘉雄

2



講座③ 宮沢賢治の「内なるバードウォッチング」（実習課）

日時：2022年3月20日（日）午前9時～12時半
会場：蒲江インターパーク付近
講師：日本文理大学名譽教授 杉浦嘉雄

3



講座④ 内山節（哲学者）
Course 12

日本を代表する哲学者。1970年代から京都と鳥取と上野村の二生涯を送る。在学での学問背景は、コミュニケーション・英語科特任教授として東京大学開拓人文化系研究所所長講師を担当し、2010年3月まで立教大学大妻社会デザイン研究所所長を務めた。著書に「東洋は時代の次に来るもの」、「『里』という思想」、「日本人はなぜギズ子になってしまったのか」、「文弱の災禍」ほか、2015年冬に山内節著集『星文道』全15巻が刊行されている。



講師／星野文絵（羽黒山伏）山伏名：尚十四
Course 14

1946年山形県羽衣山伏（羽黒山伏）に生まれる。1971年「大聖寺」十三歳で退院。2007年、「星の百百目」松原を著す。羽黒山伏最高位「取修女院」となる。出羽三山神社責任委員事務。NPO法人益のふみさと計り職業理事。千人以上の行者を先導しながら山岳健脚会に尽力。海外交流を重ね外国人の修行も聞く。全国で山の知識を活かす生き方「社説法」として開拓。近畿にて野生の力を貢献する羽黒山伏に手を貸さない限り、生きる力を引き出すががある。2021年、NHK「ETV特集山伏、奈代(いさ)を駆ける~若い山の里出羽三山から~」に出た。



講師／深津高子（国際モンタッソーリ協会理事）
course 15

1980年タイ・カンボジア国境のインボンダ国民の宿泊活動中、恒久的な平和擁護の方針としてモンタッソーリ教育を企画。隔離後は資料を保管し、モンタッソーリスクールに移る。現在は、全国で義務教育アドバイス、国際活動、連絡・翻訳などを通じて、モンタッソーリのメッセージ「私たちは子どもから始まる」を広めている。元国際モンタッソーリ協会理事、ピースポート「子どもたちの家」アドバイザー。



講師／岩佐礼子（あまべ文化研究所代表）
Prologue

1977年に佐伯城城跡卒業後、明治学院大学で仏文学を専攻し、外資系企業に就職。その後スイスのジュネーブ大学に留学し、開拓学の修士号取得後、国際児童基金に15年間務める。主に難民子弟支援の専門家としてアフリカやアジア各地にて活動。帰国後は東京大学で環境教育・内閣府の発展論を研究し、環境学の博士号を取得。2015年に「地域力の再発見」を著書店より出版。現在佐伯市のあまべ文化研究所で地域づくりに携わっている。



講座⑦ SDGsの物語をつくる

日時：2022年6月19日（日）午後2時～5時
会場：佐伯東地区公民館 集会室
講師：東京大学名譽教授 鬼頭秀一

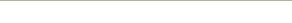
6



講座⑧ 土呂久のドキュメンタリー番組「山森に咲く」に学ぶ

日時：2022年8月21日（日）午後3時～5時
会場：佐伯東地区公民館 集会室
講師：あまべ文化研究所代表 岩佐礼子

8



講座⑨ 佐伯と土呂久

—知られざる亜硫酸公害の歴史を学ぶ
(30名限定のフィールド講座)

日時：2022年9月18日（日）午後3時～5時
会場：佐伯東地区公民館 集会室
講師：記録作家 川原一之

9



講座⑩ 内山節著『資本主義を乗り越える』
(2021農文協)に学ぶ

日時：2022年10月23日（日）午後3時～5時
会場：佐伯東地区公民館 集会室
講師：あまべ文化研究所代表 岩佐礼子

10



講座⑪ 内山節著『農文協』に学ぶ

日時：2022年10月23日（日）午後3時～5時
会場：佐伯東地区公民館 集会室
講師：あまべ文化研究所代表 岩佐礼子

11

講座⑫ 未来社会のデザインを語ろう

日時：2022年11月20日（日）午後3時～5時
会場：佐伯東地区公民館 集会室
講師：あまべ文化研究所代表 岩佐礼子

12

講座⑬ 未来社会のデザインを語ろう

日時：2022年11月20日（日）午後2時半～5時
会場：さいき城山桜ホール 小ホール
講師：あまべ文化研究所代表 岩佐礼子

13

講座⑭ 野生の力で今を生き抜く

日時：2023年2月26日（日）午後2時半～5時
会場：さいき城山桜ホール 小ホール
講師：羽黒山伏 星野文絵

14

講座⑮ 平和は子どもから始まる

日時：2023年3月19日（日）午後3時～5時
会場：佐伯東地区公民館 集会室
講師：国際モンタッソーリ協会理事・保育環境アドバイザー 深津高子

15